

中部経済圏株式ファンド

『愛称：ゲンキ・中部』



格付： C + 3



中部経済圏に本社を置く企業の株式に投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

中部経済圏銘柄

利回り

4.25%

概要

中部経済圏に本社を置く企業（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の一部を中心とするエリアに登記上の本社、または本社機能を有する企業）に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指す。10月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	—
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

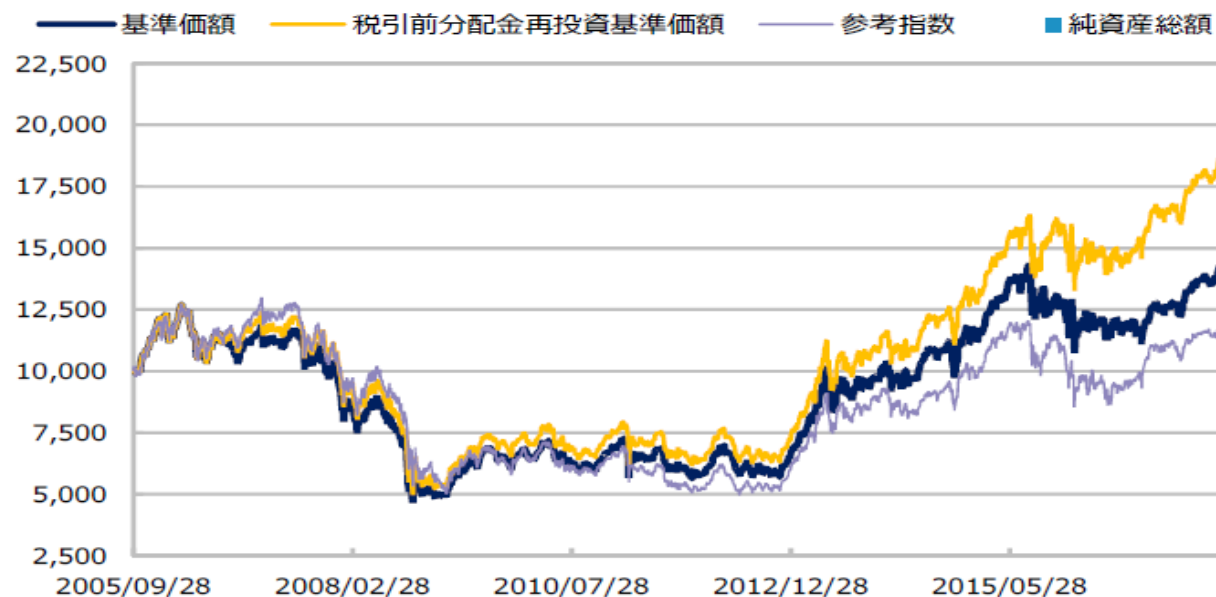
運用元：三井住友アセットマネジメント株式会社

Web: <http://www.smam-jp.com/index.html>

所在地：東京都港区愛宕二丁目5番1号

愛宕グリーンヒルズMORIタワー 28階

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



Summary

本投資信託は、セレクトポートフォリオ（時価総額順位26位以下の銘柄の中から、成長性、収益性、株価の割安度、配当利回り、流動性等の観点から組入銘柄・組入比率を決定する組）とベースポートフォリオ（時価総額順位上位25銘柄に等金額投資を行う組）を組み合わせて運用を行っている。9月初旬の株式市場は、北朝鮮の核実験の実施が憂慮されたものの、中旬以降は持ち直し、結果的に月間において堅調に推移した。今後、引き続き北朝鮮情勢などに注意が必要としながらも、世界景気の緩やかな回復傾向が続く中、輸出の回復に加えて公共投資の拡大や堅調な消費動向、企業業績の改善などが国内景気を下支えていることから、堅調な展開を予想。なお、セレクトポートフォリオについては、中部経済圏の特徴でもある資本財（輸送用機器・機械）と消費財（小売・サービス業）を中心に、ビジネスモデルに強みのある企業など中長期的な成長が期待できる企業へ投資する方針としている。以上を踏まえ、本投資信託のリターン面を「C+」、リスクを「3」と判断する。

Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。